

発行 井手町議会

編集 議会広報編集委員会

京都府綴喜郡井手町井手南玉水67

☎ 0774-82-6172 (直通)

<http://www.town.ide.kyoto.jp/>

いで 議会だより



6月定例会で決まった事 2P

町政を問う 5P

視察・委員会・研修報告／新議員紹介 ... 13P

井手町歴史散歩 14P

6月定例会で 決まったこと

安心安全のための

ブロック塀改修

防災拠点としての

防災広場の整備

改正した条例

6月21日から6月28日までの会期で開催された6月定例会では条例の一部改正や令和元年度一般会計補正予算など15件が提案され慎重に審議しました。

●選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定

この条例は国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律等に伴う条例の一部改正であります。



防災広場整備（水無区）



ブロック塀改修（役場）

令和元年度 補正予算

一般会計（第1回）

既定の予算総額に7415万円を追加し、補正予算総額は41億4215万円となります。

主な事業

・役場庁舎
ブロック塀改修

143万円

・老人福祉センター

賀泉苑ブロック塀改修

48万円

・町道1号線道路改良

800万円

・町道3号線道路改良

700万円

・橋梁長寿命化事業

1130万円

・北猪ノ阪児童遊園

ブロック塀改修

225万円

・防火水槽設置（南区）

700万円

・防災広場整備

（水無区）

1000万円

介護保険特別会計 補正予算（第1回）

令和元年度特別会計の補正でありそれぞれの所要額を計上したものです。

規約変更

京都地方税機構規約 の変更

京都地方税機構が処理する事務に新たに固定資産税のうち償却資産に係る申告書の受付事務等を追加するとともに平成28年度及び平成31年度税制改正に対応するための規約の一部を変更するものです。

同意案件

公平委員

丸山 俊也 氏
井手西高月

固定資産評価審査委員

前田 光春 氏
井手北満

教育委員

村田 尚美 氏
多賀東北組



専決処分

●井手町税条例の一部を改正

地方税の一部を改正する法律等が施行されたことに伴い所要の改定を行ったもの。主な改定内容は住宅ローン控除の拡充に伴う措置等です。

●井手町都市計画税条例の一部を改正

地方税法改正に合わせ条文の整備及び内容の改正を行ったものです。

●国民健康保険税条例の一部を改正

改正内容は国民健康保険税における基礎課税額において、58万円から61万円に引き上げる一方、低所得者層に対して負担軽減を図るため軽減適用対象者の拡充を図るものです。

●介護保険条例の一部を改正

被保険者の介護保険料の所得段階第1段階のみの軽減が第1段階から第3段階まで拡充されたことにより改正を行ったものです。

●平成30年度一般会計補正予算(第8回)

既定の予算総額から1億4962万円を減額し補正予算総額は49億65万円となります。
主な減額内容はJR玉水駅周辺整備の1億3600万円などです。

●平成30年度井手町公共下水道事業特別会計補正予算(第2回)

既定の予算総額から1225万円を減額し補正予算総額は4億1452万円となります。

●和解及び損害賠償

・事故の概要
相手方の乗用車が走行中グレーチング蓋が跳ね起き燃料タンクを破損したものの。
・和解内容
本町が10割負担する。
損害賠償額
16万6601円

平成30年度 井手町一般会計繰越明許費繰越計算書

款	事業名	翌年度繰越額(円)
総務費	新庁舎建設基本計画追加検討業務	4,500,000
民生費	プレミアム付商品券事業	1,085,000
民生費	いづみ保育園外壁改修	13,500,000
農業水産業費	農業者等復興支援事業	1,000,000
農業水産業費	野上揚水施設改修補助	1,225,000
土木費	道路新設改良費	93,762,000
土木費	橋梁長寿命化事業	13,000,000
土木費	J R玉水駅周辺整備	41,495,000
消防費	防火水槽設置等	13,200,000
教育費	小学校空調設備整備事業	25,300,000
教育費	中学校空調設備整備事業	15,400,000
災害復旧費	町道35-00号線他災害復旧事業	17,500,000
合計		240,967,000

繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、その性質上又は予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用する経費。

令和元年 6月定例会 議案・議決結果一覧表

令和元年6月定例会の審議結果等は次の通りです。(○=賛成 ×=反対) *岡田久雄議長は、賛否同数以外は表決に加わりません。

議案番号	件 名	議決年月日	議決の結果	議 員 名							
				脇 本 尚 憲	谷 田 利 一	西 島 寛 道	古 川 昭 義	丸 山 久 志	中 坊 陽	谷 田 み さ お	木 村 武 壽
議案第19号	選挙長等の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件	令和元年 6月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	京都地方税機構規約の変更について	令和元年 6月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第21号	令和元年度井手町一般会計補正予算(第1回)	令和元年 6月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和元年度井手町介護保険特別会計補正予算(第1回)	令和元年 6月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	井手町公平委員選任につき同意を求める件	令和元年 6月21日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	井手町固定資産評価審査委員選任につき同意を求める件	令和元年 6月21日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	井手町教育委員選任につき同意を求める件	令和元年 6月21日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号	専決処分の報告について (井手町税条例の一部改正)	令和元年 6月21日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	専決処分の報告について (井手町都市計画税条例の一部改正)	令和元年 6月21日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	専決処分の報告について (井手町国民健康保険税条例の一部改正)	令和元年 6月21日	承 認	○	○	○	○	○	○	×	○
報告第5号	専決処分の報告について (井手町介護保険条例の一部改正)	令和元年 6月21日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第6号	専決処分の報告について (平成30年度一般会計補正予算(第8回))	令和元年 6月21日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第7号	専決処分の報告について (平成30年度公共下水道特会補正(第2回))	令和元年 6月21日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第8号	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定)	令和元年 6月21日	報 告								
報告第9号	繰越明許費繰越計算書について	令和元年 6月21日	報 告								

町政を問う

西島 寛道 議員 (6P)

- ◆ 町長選挙について

丸山 久志 議員 (7P)

- ◆ 北陸新幹線（整備新幹線敦賀・大阪間ルート）について

谷田 利一 議員 (8P)

- ◆ 地域防災について
- ◆ 井手共同墓地について
- ◆ 運転免許証の自主返納支援について

木村 武寿 議員 (9P)

- ◆ 自動車急発進防止装置取付費補助について
- ◆ 教育情報化推進について
- ◆ 井手応援隊活動拠点運営事業について

脇本 尚憲 議員 (10P)

- ◆ 水害・土砂災害からの避難のあり方について
- ◆ 白坂テクノパークの現在の状況と今後について
- ◆ 図書館の本の管理について

中坊 陽 議員 (11P)

- ◆ 農業政策について
- ◆ 2020年五輪聖火リレーについて

谷田 みさお 議員 (12P)

- ◆ 町内の交通安全対策について
- ◆ 「プラゴミ」収集について
- ◆ 玉水駅エレベーター等について
- ◆ 自衛隊への個人情報提供について

明るい選挙のために

政治家（候補者、立候補予定者、現に公職にある者）と有権者とのつながりはとても大切ですが、金銭や品物で関係を培うことは禁止されています。

三ない運動



政治家は有権者に寄附を

贈らない



有権者は政治家に寄附を

求めない



政治家から有権者への寄附は

受け取らない

表紙写真説明 (全面) 多賀小で行われた井手町小学生水泳交歓記録会 6年生が参加
(左下) 貴重な体験をした田植え作業の様子 井手小5年生



西島 寛道 議員

町長選への考えは

Q 汐見町長は、平成7年8月の就任以来、本町発展のために町の主人公は住民であるとの信念のもと、町政に全力で取り組んでこられた。小規模な自治体で、厳しい財政状況の中、国や府との太いパイプをもとに力強い支援を受けながら、数多くの事業実績を残されて

いる。
6期目就任以来「住んでみたい、住み続けたいまちをめざして」を合言葉に経験豊かな行政手腕を発揮され他市町に先駆けて多くの実績を残してこられた。本町には、人

口減少問題の解決などこれから確実に進めていかなくはならない事業が数多くある。
今、豊かな自然と利便性・快適性が共存する新しい町として大きく変わる大切な時期である。町の総合計画を実現できるリーダーが求められている。

町長は、現在府町村会長など多くの役職経験を生かされ引き続き町政運営に当たられることを多くの住民や団体の方々と共に望んでいる。
7期目の出馬について

の考えを問う。

汐見町長

声援に応えるため 再度出馬を決意

A 4年前出馬に当たり、

1つの基本姿勢と6つの柱からなる33項目の基本政策を公約実現にむけて努力してきた。

6つの基本政策とその

主な取り組み

▽「自然環境を守り育て安全でやすらぎのあるまちづくり」

・防災拠点となる新庁舎の建設に向け

た取り組み

・マイ防災マップの作成や防災訓練の実施

・公共施設の照明や街灯のLED整備

・駅や交流センターへのエレベーター設置

▽「快適な暮らしと豊かな自然を活かしたまちづくり」

・玉水駅舎橋上化・自由通路

整備

・公共下水道整備の普及率はほぼ100%

▽「活力ある産業振興と観光・交流のまちづくり」

・白坂工業団地の開発や進出企業への支援

・町商工会発行のプレミアム付き商品券事業補助や基金の設置

▽「いいきと安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり」

・認知症予防のための体操教室の開催や取り組み強化

・自動車急発進防止装置取付け補助

・産後ケア事業や子育て世代包括支援事業

▽「つながりとふれ合いを大切に、みんなで取り組むまちづくり」

・学生の活動拠点「むすび家ide」の設置

・映画「神さまの轍」製作による情報発信



整備されたJR玉水駅・東西自由通路

▽「あすを創生する教育や文化をはぐくみ、子どもたちがのびのび育つまちづくり」

・子育て支援医療費の18歳までの完全無料化

・教育環境の整備

・生涯スポーツ・レクリエーションの振興

・地域文化や活動の充実のため文化協会事業への支援

▽「いいきと安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり」

・認知症予防のための体操教室の開催や取り組み強化

・自動車急発進防止装置取付け補助

・産後ケア事業や子育て世代包括支援事業

▽「つながりとふれ合いを大切に、みんなで取り組むまちづくり」

・学生の活動拠点「むすび家ide」の設置

・映画「神さまの轍」製作による情報発信

6期目の任期中も多くの事業に取り組み、健全財政を維持することができたのも、国や府の力強い支援と議会・住民の協力のおかげと感謝している。

多くの事業に取り組み成果を上げることができたものの、人口減少を食い止めるには至っていない状況であり強い危機感を持っている。

出馬については、前回より2団体多い町内の33団体から出馬するよう強い要請を受けた。大変光栄に思うと同時に責任の重さを痛感している。これからも基本姿勢を堅持しながらこれまでの経験と人脈等を生かし、井手町の将来にとって取り組むべき重要な課題解決に向け、全力で町政を進めることが使命であり、数多くの支持・声援に応えるものとの思いから再度出馬を決意した。



丸山 久志 議員

北陸新幹線の懸念は

Q 北陸新幹線（整備新幹線敦賀・大阪間ルート）について質問する。

さる3月議会の平成31年度井手町一般会計予算の討論の中で反対された議員は、町長は北陸新幹線誘致に熱心に取り組んでいると述べられ、地元負担に触れ、本町だけ負担が軽く済むとは考えられないと反対された。

北陸新幹線整備京都府南部ルートについては、平成28年9月議会の一般質問の答弁で、町長から北陸新幹線整備京都府南部ルート整備誘致促進同盟会設立総会で、井手町

を預かる立場から北陸新幹線京都府南部ルート整備がどのように本町に影響するのかという観点から懸念している点について京都府の城福副知事に質問したと答弁された。

設立総会に私も議会議長（当時）として出席していたが、町長は出席者の中でただ一人、自分の町にとつて懸念されることを質問され、回答を求められた。その状況を目的の前で見聞きしている。地元負担等についても、予算委員会でも再度、町長から設立総会での3点の懸念事項を丁寧に説明さ

れたが住民の方に正確に事実を伝えるため改めて北陸新幹線整備について町長の考えを問う。

汐見町長

懸念が解消したため加盟

A 設立総会場で井手町として懸念している3点について、京都府の城福副知事に対して質問した。

①木津川右岸から新駅までのアクセスは、北陸新幹線整備効果が山城全域に行き渡るよう、府としてバス運行支援や奈良線の複線化など府南部地域と新駅とのアクセス確保に努める。

②北陸新幹線整備京都府南部ルートは京都―大阪間の旅客輸送を行うもので、奈良線は京都―奈良間を結ぶもの、新幹線と並行・競合関

①木津川右岸からのアクセスについて。

②JR奈良線が並行在来線として整備に支障があるか。

③地元負担についての考え方。

係にないことから並行在来線になるとは想定したいと考えている。

③地元負担は、これまでの整備新幹線の事例では、駅設置効果が直接ある駅所在市町村が整備費用の一部負担しており、この考えが基本になると回答を得た。

北陸新幹線の誘致に熱心に取り組んでいる本町だけ負担が軽く済むとは考えられないとの討論がされていたが、発言は誤りであると明確にお答えします。





谷田 利一 議員

新庁舎敷地内にヘリポートの設置を

Q 近年の災害は、多種多様化しており、危険性が増大している。

ヘリポート設置の考えは。

特に、災害時に道路などのライフラインが寸断され緊急を要する事態が発生した時には、空路を利用したドクターヘリの活用は最も有効と考える。そこで、次のことについて問う。

①新庁舎の敷地内にドクターヘリの着陸可能な

②老朽化による改修等が必要な井手分署を新庁舎付近に移転し、防災拠点として機能させる考えは。

③井手分署の部隊数はどのような編成になっているのか。救急救命士の配置数。

④井手町出身の井手分署員数。

総務課長
協本

新庁舎の機能は検討 ドクターヘリ対応は町内5カ所

①新庁舎建設に際しては規模や機能など、必要

最小限で検討している。井手分署によると、ドクターヘリでの緊急搬

送は、井手小・多賀小・泉ヶ丘中・新四郎山グラウンド・住民グラウンドの5カ所に対応できるとしている。

②井手分署は、平成4年に開設された。鉄筋コンクリートの耐用年数は65年程度であり、建てかえは先になると考えている。

③1班が4名配置の3班



ドクターヘリ

体制。救急救命士は、各班に1名、日勤で1名の合計4名が配置されている。

④井手町出身者は2名配属されている。

井手共同墓地に駐車場・トイレの設置を

Q 住民の皆様から井手共同墓地の墓参りに、駐車場やトイレについて、不便を感じているとの声を多く聞く。

次の事について問う。

①車が多い時には、町浄水場付近まで車が並ぶ

墓地入り口近くの竹林や川にふたをして、駐車場を増設する考えは。

②今までに多くの議員が質問され答弁されているが、住民より再度要望してほしいとの声であり、トイレ設置の考えは。

環境課長
産業本

維持管理面から難しい

①利用者の多い時期は、お盆と彼岸などの一時

期であることから、駐車場の設置は難しいと考えている。

②維持管理の観点、墓地は市街地から遠くない距離、墓参りは長時間

にわたらないことなどから、トイレ設置は困難と考えている。

自主返納支援策の府内市町の取り組みは

Q 高齢ドライバーによる重大事故が、全国的に発生している。

加齢に伴う身体能力や判断力の低下など、運転に不安を感じ、自主的に返納される方も増えている。

そこで、次の事について問う。

①府内21市町で実施されている。主な内容はギフト券・タクシーチケット・COCAや民間バス等の乗車券の交付。

②他市町の支援策を参考に説明した。特に意見はなかった。

③支援策を導入することで、元気で生活され機

て問う。

①現時点での返納支援策を実施している府内市町の取り組み状況。

②町交通対策協議会での意見、内容は。

③運転免許証返納者への支援策について本町の考えは。

総務課長
協本

府内21市町で支援策実施

①府内21市町で実施されている。主な内容はギフト券・タクシーチケット・COCAや民間バス等の乗車券の交付。

②他市町の支援策を参考に説明した。特に意見はなかった。

③支援策を導入することで、元気で生活され機



木村 武 壽 議員

急発進防止装置の申請状況は

Q 最近ニュースで報道される高齢者の交通事故では「ブレーキとアクセルの踏み間違ひ」というフレーズがよくでてる。

本町で始まった、自動車急発進防止装置の取付費補助事業に対する住民の反応と、今後の利用促進策の取り組みは。

福祉課長
高井 寺

現時点で問合せはあるが申請はない

A 広報いでやホームページで周知しているが、現時点で申請された方はいない。

窓口や電話で制度の内容や取付け先の問い合わせは5件ほどあった。

利用促進については、広報いで・ホームページ・老人クラブ総会・地域ケア会議などで周知をしているが、今後もしも細かく周知等に努める。

プログラミング教育の取り組みは

Q 2020年度からの小学校におけるプログラミング教育の実施に向けた機運醸成を目指し、本年9月を「未来の学びプロジェクト」プログラミング教育推進月

間」としている。

2020年度の全面実施に向け、本町における教育の情報化について本年度の予定は。

教育課長
高江 学校

小学3年生以上にプログラミング教育試行

A 昨年度より、井手町学校教育情報化検討委員会にプロジェクトチームを立ち上げ準備を進めている。

本年度は、小学3年生以上にプログラミング教育を試行する。

具体的には、コンピュータ画面上のキャラクターを目的に合わせて操作する学習を2・3時間行う。

5年生の算数で、正多角形の作図を1・2時間6年生の理科で明るさに応じて点滅する電球の制御の仕組みについての学

習を2・4時間実施するなどコンピュータに意図した処理を行わせる学習を進める。

この他にも、国のプログラミング教育に関するホームページ、未来の学びコンソーシアムに掲載の事例を参考に各学年で実践を積み上げて行く。

本年度も府教育委員会等が開催する研修会等に代表教員が参加し、校内で伝達するなどプログラミング教育に関する教職員の理解の深化と指導力の向上を図る。

「むすび家 ide」の活用は

Q 築100年以上の空き家を改修し、井手応援隊の活動拠点「むすび家 ide」の整備を行い、これまで町内小学校と連

携した寺子屋や大学教授による生涯学習講座を実施されてきた。

本年度の事業の展開は。

推進室長
木室 地域創生

「むすび家カフェ」を開設

A 昨年度より、施設の一部を改修し、町内在住のシェフの協力を得て「むすび家カフェ」を開設した。



ラジオ体操風景

京都産業大学井手応援隊と井手町商工会青年部との連携による地元中学生向けの職場体験イベントや地元小学生向けの交流イベント等を推進して行く。

6月末より、毎週日曜朝8時に地元老人会と連携したラジオ体操の実施。



脇本 尚 憲 議員

避難等のガイドラインは

Q 本年31年3月に内閣府の防災担当より「避難勧告等に関するガイドラインの改定」が発表された。改定内容を踏まえ取り組みを問う。

①避難勧告等に関するガイドラインの改定「警戒レベルの運用等について」が発表された。改定内容を踏まえ取り組みを問う。

総務
協本課長

伝達文にて情報提供

A ①避難勧告等に関するガイドラインの改定

警戒レベル1、最新情報に注意をし、災害への心構えを高める。
レベル2、自らの避難行動を確認する。いずれも気象庁が発表。
レベル3、要配慮者は、

避難する。その他の人は自主的に避難をする。
レベル4、避難所への避難を基本とする避難行動をとる。
レベル5、命を守るための行動をとる。
②本年の出水期から先ほどの警戒レベルを用いることから、この

時期に合わせて、当該内容について本町のホームページにて周知を図るとともに該当ガイ

ドラインの改正点を踏まえ伝達文にて情報提供する。

白坂テクノパークの現況は

Q 白坂テクノパークの造成工事後はこの環境を生かして、町の活性化、人口増加、税収確保など様々な課題に取り組んで行く必要がある。

①白坂テクノパークの完成時期は。

②本町として現在の誘致企業数や事業形態は。
③本町における雇用創出効果や税収見込み額は。
④白坂と多賀地区へのアクセスする道路について現在の進捗状況や完成時期は。

環境
産業課長

建設
西田課長

雇用・税収増

A ①1区から3区は、平成30年4月に完成済。

4区は造成中で、完成は今年度末の見込み。
②7区画の内、既に営業は5社。進出予定が1社。事業形態は、リース業2社、その他。ペット用品等の物流センター、運送業、塗装業及

び酒類の物流センター。
③管内全体の有効求人倍率は1・15倍で井手町は2・99倍。管内で一番高い倍率。
雇用実績は、営業開始5社によると、正社員パート合わせた総従業員数330人、新規雇用者数は190人、地元雇用は約40人。

税収見込み額は、現在までの税収増加として

約8900万円の増収効果。

④道路の詳細設計中で、今後、地元等に計画説明を行う。具体的な着手時期は未定。



白坂テクノパーク

図書館の管理は

Q 府南部地域の図書館の蔵書とみられる本が大量に投棄されている事件が発生した。

次のことを問う。

①本町では今回、図書館の蔵書に被害はあったのか。

②今までの不明本などの事例は。

③図書館の盗難対策は。

教育
社会課長

防犯カメラを設置している

A

①今回の事件で被害はない。

②不明本は、28年度18冊

29年度16冊、30年度12冊。

③本棚の間に防犯カメラ4台を設置している。



中坊 陽 議員

農業政策の支援策は

Q

農業は、私たちの生活に欠くことのできない食料を供給し、国土・環境の保全を通じて経済的外部効果、公益的機能や文化的機能・社会的意義・自然環境機能など多種多様な機能を果たしている。農地には多様な生物が生息し、地域固有の農村景観や、歴史と伝統に根差した地域の文化が継承され、緑と潤いに満ちた生活・余韻空間を提

供している。農地の維持や活用は、重要な政策ですが国内の農業就業人口が減り続け高齢化が進んでいる。本町の現状と政策について問う。

①今後の農業に対する考えは。
②農業就業人口の推移は。
③有害鳥獣対策は。
④放置農地・竹林対策は。
⑤農地集約の具体策は。
⑥農業者に対する支援策は。

環境課長
産業本部長

効果的な支援を

①農業委員会によるアン

ケート実施を予定し、関係機関と共有・連携

し、農地の最適化利用が図れるよう取り組みを検討。

②平成22年と27年の比較では、総農家数は31戸の減。販売農家数は22戸の減。農業就業者数は年を追うごとに減少している。

販売農家数のうち、主業農家数は少数だが担

い手の増。

③捕獲許可による捕獲、追い払い、国事業による防護柵設置による駆除を実施。猿については、追い払い活動を継続的に実施。

④必要な取り組みを実施。⑤30年度末時点、約2ヘクタールを集約。

⑥多賀第2製茶組合製茶工場の省力

化を図るボ

イラー設備

の交換等の

助成により

円滑な生産

活動を支援

今後とも関

係機関と連

携し、効果

的な支援を

行っていく

たい。

農業体験の小学生



五輪聖火リレーはなぜ希望しないのか

Q

2020年東京五

輪・パラリンピック組織

委員会から、来年3月26日から47都道府県を巡る五輪聖火リレーのルート概要が発表された。

前回の1964年には本町内を住民代表の聖火リレーランナーが走り大

きな盛り上がりがあり、今回も前回と同様の聖火リレー通過を期待していたが本町はなぜ選出されなかったのか。

その理由について問う。

松田 教育長

総合的に勘案し希望しない

A 昨年9月、府実行委

員会から第1次実施希望調査があり、聖火リレーの全体的なマニュアルと地元負担額1000万円が示されました。その時点で実施を希望する旨を回答した。

必要経費は最大で1011万円であり町の負担となる。本町として実施要件、総合的に勘案しながら、各委員会のご意見も踏まえ今回は実施しない方向性を町長に報告した。

今年1月第2次調査があり、実施の詳細について尋ねると1964年のものとかなり違ったものであり、内容は、1町村走行距離は2キロ。1区間200メートルで10区間とし、ランナーは1区間当たり1名のみ。地元住民が参加できるのは1名のみ、伴走者としても参加できないとのこと。

町長より、この機会に町民体育大会の充実を図るため、支援策として基金1000万円を積立、毎年計画的に活用してはとの話があり、これを受けてより充実したものとなるように取り組んで行きたい。



谷田 みさお 議員

交通安全対策は

Q 去る5月8日大津市の

の交差点で車2台がぶつかり散歩中の保育園児2人が死亡、多数の園児と保育士が負傷するという事故が発生した。

①この機に町内でも交通危険箇所の点検を行うべきでは。

②大津市ではスクールゾーンを保育園、幼稚園の近隣などを含むキッズゾーンに拡大する方向で検討が進められているが、スクールゾーン、キッズゾーンの設置が必要ではないか。

③カーブミラーを定期的に清掃し、順次、凍結しにくい防雲鏡に取り

替えては。

④JR玉水駅前の東西の交通広場新設では、どのような交通安全対策を講じるのか。

⑤玉水駅北側の北垣内踏み切りの見通しが悪くまた多賀南部公民館前のカーブのゴムボールだけの設置では不安を感じる。

さらに交通安全対策の取り組みは。



⑥免許返納希望者への支援は。

総務課長
建設課長
西田課長

順次行う

A

①今回の大津市の事故を受け、保育園にて散歩コースの再点検を行った結果、危険箇所はなかった。

②スクールゾーン、キッズゾーンの設置については、井手町交通対策協議会の中では、登下校時間帯での車両の通行禁止や一方通行などの必要性については聞いていないので考えてない。

③ミラーについては、区の要望により現地立会の上、設置や修繕、交換等をしている。なお防雲鏡の設置については、山間部に住宅地がある宇治田原町で設置していると聞いているが本町は山間部に位置していないことから設置は考えていない。

④西交通広場については

通行車両の減速を促す路面等の対策を検討中。

東交通広場については主に歩行者や自転車を対象とした広場で、広場には自転車置き場とともに、車止めを設置することにより一般車両の出入りを制限する計画としている。

⑤現在施工中の玉水駅西交通広場の整備により遮断機と府道の間に乗用車が1台停車できるスペースを設け左右の見通しをよくする。また見通しを阻害しているJRの信号ボックスについても第二期複線化工事にあわせて移設する。

本年4月に、府民協働型インフラ保全事業として府に、速度抑制対策を提案している。

⑥認知症予防教室の開催により早期発見を努める。

ごみ専用かごの設置を

Q きちんと分別どおり

回収するには、プラごみの収集日を他のごみの収集日と曜日を変え、あるめる。

環境課長
産業課長
菱本

必要ないと考える

A 搬入先の城南衛生管

理組合での展開調査において、これまでから本町からの資源ごみ混在の報告は受けておらず、住民の皆様の協力により適正

駅エレベーターの開閉は

Q 住民待望の玉水駅の

バリアフリー化が実現したがエレベーターの開閉改善できないか問う。

建設課長
西田

調整を進めている

A 公共施設のエレベーター

であり車椅子の方なども利用するので、安全対策上、一般的な速さにはならないが、利用者から既に、聞いているため調整を進めている。

※「自衛隊への個人情報提供について」は紙面の都合上割愛しています。

視察・委員会・研修報告

消防操法大会

視察

脇本尚憲議員

7月28日(日)に開催された、第25回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会に議員8名が視察しました。



本町から第一分団第二部(北区)と第一分団第七部(玉水区)が代表として出場し日頃の訓練の成果を披露された。炎天下の中キビキビと消防操法競技に取り組む姿に感動し、今後本町の住民の安心安全のため消防団活動に日々精進していただけると確信しました。

全議員研修報告

脇本尚憲議員

7月26日(金)に京都府町村議会議長会創立70周年の記念研修会が開催されました。



70周年記念研修会

第一部では「地方自治の未来」というテーマで前府知事の山田啓二氏の講演がありました。人口減少など様々な地方自治が抱える課題について具体的な数値や他の地方自治体で取り組まれている事例今後の地方自治体とし

研修報告

谷田みさお議員

7月24日・25日大津市の全国市町村国際文化研修所で開催された研修に岡田議員と参加しました。

講師は関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授の稲沢克祐氏で、1日目は「決算の意義と審査のポイント」で秩父市の決算資料をもとに具体的な決算分析手法を学びました。

2日目には「決算審査の新しいアプローチ」として、新たに導入される複式簿記による決算文書の読み解き方や行政評価等を用いた決算審査の実践を学びました。

交通対策

特別委員会

委員長

古川昭義議員

6月28日(金)に開催し陳情1件の他、交通の諸問題について議論を交わした。

谷田利一議員

7月29日・30日全国市町村国際文化研修所で開催された研修に木村・西島・脇本議員と参加しました。講師は

関西学院大学法学部教授金崎健太郎氏でテーマは「自治体の予算を考える」で講義の後、意見交換会もあり、予算審議のあり方、財政状況に関する住民への情報提供・住民の意見聴取方法、公共施設の老朽化対策をテーマに活発に討議をしました。

新議員紹介



奥田俊夫議員

多賀西南組

議員補欠選挙にて当選
(任期は令和四年四月二十八日まで)



国際文化研究所での研修



— 井手町のむかし話 —

井手町には昔から伝わるむかし話があります。
今回は、有王地区にある有王天神社にまつわるむかし話を紹介します。

合祀された天神さん 4月14日だけ里帰り

むかし、井手の有王という村に北野天満宮から分けていただいた有王天神社があったな。

村の者は、それは大事にお奉りしておったのや。

明治の初めごろ、散在していた神社を合祀することになって、この神社も井手の玉津岡神社へ移されることになってな。

明治22年4月14日、宮移しの神事が執り行われたのや。宮移しは、暗闇の中ひそかに行われるものでな、宮司さんだけが見ることでのご神体は、丁寧に包まれて庄屋さんに渡されたのや。

庄屋さんはそれを懷に納めると2～3名のお供を連れて、提灯の明かりだけを頼りに玉津岡神社に向かわはった。

井手へは、有王から流れ出ている玉川に沿って行くのやが、それがものすごく蛇行しててな。四十八とび言うて、48回も川の石を飛び越えんといけへん。

庄屋さんが石を飛び飛び川を下っていると、稲妻とともに物凄い雷が鳴り響いて大嵐になったのや。

そればかりやない。

庄屋さんの家では奥さんが突然きつい腹痛に襲われてな。

「いたい、いたい」と、家中の座敷を転げまわりはったんやて。

そやけど、玉津岡神社にご神体を収めはったら、嵐も収まり腹痛も嘘のように治ったんや。

ところが、それから毎年4月14日になると雷が鳴ったり、雹が降ったりして、天気が悪くなるのや。

「玉津岡へ移されはった天神さんが、有王へ帰りがあって暴れたはるんと違うか。祟りや」と村の者が言うもんで昭和15年有王山にお宮さんを建てて毎年4月14日だけ里帰りしてもらうことにしたのや。

それを「逆迎え」と言うてな。村をあげてお祭りをする。皆で祝詞をあげ、玉串を捧げ御馳走を作って食べるのや。

その日はどんなに天気が悪うても、神事が始まると不思議に晴れてくる。ところが、全部終わって天神さんが山から下る頃、また悪うなってくるのや。

どうやら天神さんは、有王のほうが良いうて、玉津岡へ戻りとうないのかも知れんな。

今も、有王地区にある天神社は地元の人たちによって大切に祀られています。

井手町のむかし話を、子どもさんに是非とも読み聞かせてあげて下さい。



地元の人達により大切に祀られている天神社

文：宇治民話の会

井手町ふるさとガイドボランティアの会 岩田 剛

編集後記

晩夏の頃、皆様は夏バテしていませんか？

9月にはラグビーワールドカップが日本で開催されます。前回のワールドカップでは日本代表が優勝候補の南アフリカから勝利したことが記憶に新しいと思います。ラグビーは球技の中で最大の15人で競技を行います。ラグビーのポジションは10個あります。身長の高い人、高い人、ぶつかるのが上手な人、パスのうまい人、キックのうまい人、足の速い人、タックルが上手な人など自分自身の得意分野を生かせることがこのスポーツの魅力だと思っています。町議会も新しい議員が入り個性豊かなメンバーで住民の皆さまとスクラムを組みながら議会運営を進めていきたいと思えます。

(T・W)

議会広報編集委員

委員	委員	委員	副委員長	委員長
中	坂	本	脇	谷
岡	田	田	岡	木
陽	一	利	久	武
壽	雄			